



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名 ノイルイミュン・バイオテック株式会社 上場取引所 東
コード番号 4893 URL https://www.noile-immune.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 耕治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 永井 寛子 TEL 03 (5843) 7819
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	5	△98.3	△892	—	△785	—	△787	—
2023年12月期第3四半期	314	—	△495	—	△848	—	△850	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△18.18	—
2023年12月期第3四半期	△20.81	—

(注) 2023年12月期第3四半期潜在株式調整後1株当たり四半期純利益および2024年12月期第3四半期潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,970	4,902	98.5
2023年12月期	5,778	5,687	98.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 4,896百万円 2023年12月期 5,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7	△97.6	△1,099	—	△991	—	△994	—	△22.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

業績予想の公表については、本日 (2024年11月14日) 公表いたしました「業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	43,301,765株	2023年12月期	43,276,765株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	－株	2023年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	43,296,108株	2023年12月期3Q	40,858,752株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「がんを克服できる未来の創生に貢献する」という経営理念の下、当社の独自技術であるPRIME (proliferation inducing and migration enhancing) 技術を用いた固形がんに対するCAR-TやTCR-Tなどの遺伝子改変免疫細胞療法の研究開発に取り組んでおります。

当第3四半期会計期間における当社事業の概況としまして、PRIME技術を基盤とした自社創薬事業及び共同パイプラインを引き続き推進いたしました。自社創薬事業におきまして、当社の最優先開発品目であるNIB103の開発に取り組み、タカラバイオ株式会社との間でNIB103の共同開発に関する提携を行いました。本提携により、国内におけるNIB103の製造体制を確立すると同時に、今後の開発のさらなる効率化、加速化を進めます。2025年の早い時期の治験届提出を目指し、両社共同で開発を進めております。なお、NIB103以外の自社創薬パイプラインについては、共同開発を含めたあらゆるアプローチを介して開発を推進するとともに、NIB104やNIB105の早期の臨床ステージへの移行を目指し取り組んでまいります。また、当社はこれらに続く新たなパイプラインや次世代技術に関する研究について引き続き実施しております。2017年より継続している国立大学法人山口大学との共同研究においては、引き続きCAR-TやTCR-Tを中心とした次世代型遺伝子改変免疫細胞療法、他家細胞を利用したがん免疫細胞療法、次世代型PRIME技術に関する研究を実施しております。

共同パイプラインにおきまして、従前よりPRIME技術をライセンスしているAdaptimmune therapeutics plc, Autolus therapeutics plc及び中外製薬株式会社による研究開発が引き続き進行しております。また、技術評価に関する契約を締結している第一三共株式会社において評価研究を実施中です。

当第3四半期累計期間における事業収益は5,444千円（前年同期比98.3%減少）を計上した一方で開発の継続により、営業損失は892,385千円（前年同期は495,857千円の営業損失）、パイプラインの優先順位の変更に伴う開発委託先との契約解消により受取精算金106,915千円が発生し経常損失は785,185千円（前年同期は848,611千円の経常損失）、四半期純損失は787,086千円（前年同期は850,433千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は4,970,106千円となり、前事業年度末に比べ808,840千円減少しました。これは主に、現金及び預金が838,722千円、前渡金が22,216千円、前払費用が19,875千円、未収消費税等が27,154千円、長期預け金が35,034千円減少し、一方でパイプラインの優先順位の変更に伴う開発委託先との契約解消により発生した受取精算金等にかかる未収入金が149,238千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は67,240千円となり、前事業年度末に比べ24,253千円減少しました。これは主に、未払法人税等が17,793千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は4,902,865千円となり、前事業年度末に比べ784,586千円減少しました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が787,086円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、タカラバイオ株式会社と提携し、NIB103の新たな第I相臨床試験の開始を最優先事項として、2025年の早い時期の治験届提出を目指し共同で開発に取り組んでおります。なお、本提携により両社で日本国内におけるNIB103の開発を進めますが、治験用製品の製造をタカラバイオが担当しその製造に関連する費用はタカラバイオが負担します。なお、NIB103以外の自社創薬パイプラインについては、共同開発を含めたあらゆるアプローチを介して開発を推進するとともに、NIB104やNIB105の早期の臨床ステージへの移行に取り組んでまいります。共同パイプラインについては、既存のパートナーとのプロジェクトを推進するとともに、新たなパートナーとの提携によるアップフロント収入等の獲得を目指しております。しかしながら、当社の事業はパートナーによる事業の進展状況や新たなライセンス契約による事業収益等によって業績が大きく変動する可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,555,691	4,716,968
貯蔵品	20,901	8,839
前渡金	29,317	7,100
前払費用	38,622	18,747
未収入金	3,403	152,641
未収消費税等	66,994	39,840
その他	2,157	203
流動資産合計	5,717,089	4,944,342
固定資産		
投資その他の資産		
長期前払費用	2,699	2,198
長期預け金	35,034	—
差入保証金	24,123	23,565
投資その他の資産合計	61,857	25,764
固定資産合計	61,857	25,764
資産合計	5,778,946	4,970,106
負債の部		
流動負債		
未払金	18,715	13,668
未払費用	29,613	22,193
未払法人税等	30,210	12,416
契約負債	2,845	7,857
預り金	4,875	5,870
流動負債合計	86,260	62,006
固定負債		
資産除去債務	5,233	5,233
固定負債合計	5,233	5,233
負債合計	91,494	67,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045,977	4,047,254
資本剰余金	4,023,821	4,025,098
利益剰余金	△2,389,247	△3,176,334
株主資本合計	5,680,550	4,896,018
新株予約権	6,901	6,847
純資産合計	5,687,452	4,902,865
負債純資産合計	5,778,946	4,970,106

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
事業収益	314,144	5,444
事業費用		
事業原価	2,093	195
研究開発費	496,014	513,624
その他の販売費及び一般管理費	311,894	384,009
事業費用合計	810,001	897,829
営業損失(△)	△495,857	△892,385
営業外収益		
受取利息	44	560
還付加算金	—	49
受取精算金	—	106,915
その他	0	3
営業外収益合計	44	107,529
営業外費用		
為替差損	545	330
上場関連費用	343,444	—
株式交付費	8,808	—
営業外費用合計	352,798	330
経常損失(△)	△848,611	△785,185
税引前四半期純損失(△)	△848,611	△785,185
法人税、住民税及び事業税	1,821	1,900
法人税等合計	1,821	1,900
四半期純損失(△)	△850,433	△787,086

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、がん免疫療法創薬事業の単一セグメントであり、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額の計上はありません。